

## 下関市戸籍氏名の振り仮名記載業務に係るプロポーザル評価基準

## (1) 評価方法

一次審査（書類審査）及び二次審査（プレゼンテーション審査）による2段階審査とし、各審査委員の評価点は、書類審査200点、プレゼンテーション審査400点の合計600点を満点とする。

表1および表2における評価項目（見積額を除く。）は、評価項目ごとの配点×評価係数（表3）で評価を行う。見積額については、表1の判断の目安欄に記載の方法で評価を行う。

総合点は、審査委員（5名）の評価点の合計（3,000点満点）とする。

## (2) 項目及び配点

表1

## 書類審査

評価項目	評価の視点	判断の目安	配点
基本方針	氏名の振り仮名記載業務遂行にあたっての提案コンセプトが明確かつ具体的に記述されているか。	本業務に対する方針が明示され、業務に取り組む姿勢が明らかで、前向きに伝わる。	30
	氏名の振り仮名記載業務の内容について十分に理解しているか。	事業内容及び目的に関する理解・知識が十分にある。国の動向を踏まえた提案となっている。	
会社概要・実績	安定的なサービスの提供を見込まれるか。	プライバシーマークを取得し、かつ、ISMSの認証を受けている。	10
	地方公共団体において類似業務の実績があり、信頼性、信用性が高いか。	中核市又は人口20万人以上の地方公共団体を契約相手方として戸籍関連・マイナンバー関連の業務を受託し履行した実績（過去5年間）が豊富にある。	
適正な請負業務	労働者派遣と業務請負を明確に区分し、業務請負を適正に遂行する体制を整備しているか。	業務にあたって、本市と統括責任者もしくは、業務責任者の間で連絡調整を行う体制が明らかである。	20
	偽装請負回避のための対策が講じられているか。	偽装請負の考え方を理解し、業務従事者への教育などの対策が講じられている。	
研修及び人材育成	社員教育に対する考え方が明確で優秀な業務従事者が確保される体制が整備されているか。	社員教育（研修）の目的が明示され、人材育成の具体的な方法が示されている。	30
	受託前もしくは受託後の研修体制が整備されているか。	本事業開始前までに、円滑に業務を遂行できるよう研修が組まれ、業務開始後も、研修等により教育が行われている。	
業務の実施体制	業務従事者が適正に配置されているか。	業務が履行できる人員配置を提案している。	40
	統括責任者及び業務責任者の実績は十分か。	本業務と類似性が高い業務における実績が十分である。	
	臨時又は長期的な欠員が生じた場合のバックアップ体制等が整備されているか。	本業務の運営に支障を期すことのないよう対策が立てられていること。振り仮名通知書発送後の繁忙期について、柔軟に人員を対応できる体制である。	
個人情報の管理	個人情報保護に対し、社員教育を含めた取り組みが行われているか。	法人として具体的な個人情報の管理の方法や考え方が明示され、かつ、研修等により教育を実施している。	30
見積額	適正な見積額であるか。	各提案者の提案金額のうち最低金額÷提案金額×配点（小数点以下切り捨て）	10
その他	業務委託に当たり、特にアピールするものが述べられているか。	職員に加え届出人の負担を軽減するための、特色のある取り組みが提案されている。	30
一次審査 計			200

表 2

## プレゼンテーション審査

評価項目	評価の視点	判断の目安	配点
確実な業務の実施	コールセンター、受付、入力、その他業務の実施計画、運営方法の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務のの事業内容及び法令等について、十分に理解し、本業務の目的に合致した取組方針を計画しているか。</li> <li>・具体的かつ現実的なスケジュールで業務を遅滞なく履行することが見込まれるか。</li> <li>・適正な請負業務を実施するための対策は万全か</li> <li>・国の方針変更に合わせて柔軟な対応、提案を行っているか。また実現見込みはあるか。</li> </ul>	150
業務の質の維持	各業務工程における質の維持 危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報などの情報漏洩を防止するたもの方策の提案、人的ミスや処理遅延への対応策、苦情やトラブルに対する予防策は十分か。</li> <li>・業務の品質を維持、向上させるための、人材確保及び人材育成に対する方策の提案があり、実現可能で信頼できる内容か。</li> </ul>	150
独自の提案	独自の強みを活かした提案、実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員や届出人の負担軽減に資する提案を行っているか。</li> <li>・作業の効率化につながる実現可能な提案を行っているか。</li> </ul>	100
二次審査 計			400
合 計			600

## (3) 評価の基準

表 3

評価	評価係数
特に優秀である／高度な能力を有している／十分な実績がある	1. 0
優れている／十分な能力を有している／実績がある	0. 8
平均的・普通である／平均的な能力である	0. 6
物足りない／若干劣る能力である	0. 4
不安・不満である／能力が劣る	0. 2
記載なし／実績なし	0. 0